

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-149961

(43)Date of publication of application : 24.05.2002

(51)Int.Cl. G06F 17/60

(21)Application number : 2000-341010

(71)Applicant : FUJI XEROX CO LTD

(22)Date of filing : 08.11.2000

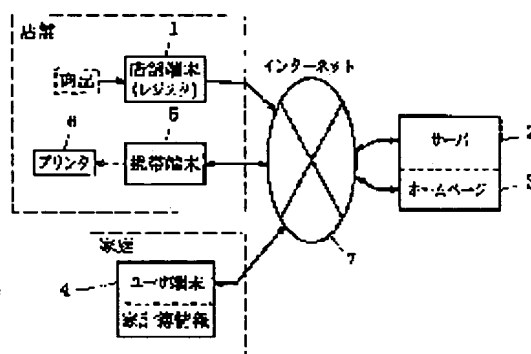
(72)Inventor : MATSUI TETSUYA

(54) SHOPPING SUPPORT SYSTEM AND SERVER FOR SHOPPING SUPPORT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a shopping support system for supporting the consumer so that each consumer can make shopping effectively.

SOLUTION: The consumer makes access from a user terminal 4 to a home page 3 through the Internet 7 and transfers the domestic accounts information (part thereof) from the user terminal unit 4 to a server 2. When the consumer visits to a shop, the consumer can take out the domestic accounts information which has been transferred by making access to the home page 3 from the portable terminal unit 5, etc., through Internet 7. For example, the consumer can check the food materials in stock to decide the menu or to purchase foods lacking. If the consumer previously transfers the list of items to be purchased to the server 2, the consumer is only required to check the items for purchasing at the shop. Further it is possible to decide the gifts to be sent upon checking the previous gifts and also take out the addresses to whom gifts are sent. In this manner, the shopping of the consumer can be supported in various scenes.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-149961

(P2002-149961A)

(43) 公開日 平成14年5月24日 (2002.5.24)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

1 7 6

Z E C

5 0 4

5 0 6

F I

G 0 6 F 17/60

テ-マコ-ト^{*} (参考)

1 7 6 C 5 B 0 4 9

1 7 6 Z

Z E C

5 0 4

5 0 6

審査請求 未請求 請求項の数13 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号

特願2000-341010 (P2000-341010)

(22) 出願日

平成12年11月8日 (2000.11.8)

(71) 出願人 000005496

富士ゼロックス株式会社

東京都港区赤坂二丁目17番22号

(72) 発明者 松井 哲也

東京都港区赤坂二丁目17番22号 富士ゼロックス株式会社内

(74) 代理人 100101948

弁理士 柳澤 正夫

Fターム(参考) 5B049 BB13 CC05 CC08 CC50 FF04

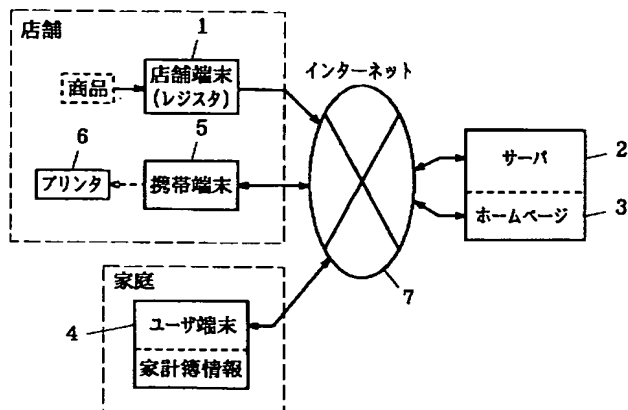
GG02

(54) 【発明の名称】 ショッピングサポートシステムおよびショッピングサポートサーバ

(57) 【要約】

【課題】 効率的にショッピングを行うことができるように消費者をサポートするショッピングサポートシステムを提供する。

【解決手段】 消費者は、ユーザ端末4からインターネット7を介してホームページ3にアクセスし、ユーザ端末4から家計簿情報（の一部）をサーバ2に転送しておく。消費者が店舗に出向いた際に、携帯端末5等からインターネット7を介してホームページ3にアクセスし、転送しておいた家計簿情報を取り出すことができる。例えば在庫の食材をチェックして献立を決め、不足の食材を購入することができる。また、購入品のリストを予めサーバ2に転送しておけば、店舗において購入すべき商品をチェックすることができる。さらに、以前の贈答品をチェックして贈答品を決定し、また送り先についても取り出すことができる。このように、種々の場面で消費者のショッピングをサポートすることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザ端末から家計簿情報を受け取って蓄積するとともに該家計簿情報の送信元である消費者からの要求に応じて蓄積している家計簿情報の中から要求された情報を転送するサーバと、インターネットを介して前記サーバと接続し前記サーバに蓄積されている家計簿情報の中から所望の情報を取り出す端末手段を有することを特徴とするショッピングサポートシステム。

【請求項 2】 前記サーバは、さらに店舗端末から購入商品情報を受け取り前記ユーザ端末に家計簿情報として転送する機能を有していることを特徴とする請求項 1 に記載のショッピングサポートシステム。

【請求項 3】 家計簿情報を保持し消費者が操作するユーザ端末と、同じ消費者が操作する携帯用の端末手段と、前記消費者に対する購入商品情報を取得する店舗端末と、情報を蓄積するサーバとがインターネットで接続されたショッピングサポートシステムにおいて、前記店舗端末から送られてくる前記消費者に対応する購入商品情報を前記サーバが取得して該消費者の前記ユーザ端末に家計簿情報として転送するとともに、前記消費者からの家計簿情報を取得して蓄積し、前記消費者による前記端末手段からの指示に従って該消費者が要求する前記家計簿情報中の情報を前記端末手段に転送して、家計簿情報の一部を前記消費者に提供することを特徴とするショッピングサポートシステム。

【請求項 4】 前記端末手段は、インターネットを介してホームページにアクセスすることによって、予め操作者が前記サーバに蓄積しておいた家計簿情報を取り出すことを特徴とする請求項 1 ないし請求項 3 のいずれか 1 項に記載のショッピングサポートシステム。

【請求項 5】 前記ユーザ端末は、前記サーバから送られてくる購入商品情報を家計簿情報として受け取るとともに、前記消費者によって入力される情報の追加を含む修正を受け付け、消費者からの指示に応じて前記サーバへ家計簿情報を転送する機能を有していることを特徴とする請求項 3 に記載のショッピングサポートシステム。

【請求項 6】 前記ユーザ端末は、インターネットを介してホームページにアクセスすることによって、家計簿情報を前記サーバに転送することを特徴とする請求項 3 または請求項 5 に記載のショッピングサポートシステム。

【請求項 7】 前記端末手段は、店舗内のプリンタと接続して、前記サーバから取得した情報を記録出力可能であることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 6 のいずれか 1 項に記載のショッピングサポートシステム。

【請求項 8】 前記サーバは、外部から特売商品情報を受け取り、前記端末手段に転送する情報に対応する特売商品情報を前記情報とともに前記端末手段に転送することを特徴とする請求項 1 ないし請求項 7 のいずれか 1 項に記載のショッピングサポートシステム。

【請求項 9】 前記サーバは、複数の店舗等における前記特売品情報を受け取って条件に応じて前記特売品情報を選択して前記端末手段に転送することを特徴とする請求項 8 に記載のショッピングサポートシステム。

【請求項 10】 前記サーバは、前記端末手段に転送する情報が食品に関する情報である場合に、該情報に対応する献立情報を前記情報とともに前記端末手段に転送することを特徴とする請求項 1 ないし請求項 9 のいずれか 1 項に記載のショッピングサポートシステム。

10 【請求項 11】 店舗から特売品情報を受け取って蓄積する特売品情報蓄積手段と、外部の端末装置から家計簿情報を受け取って蓄積する家計簿情報蓄積手段と、前記家計簿情報の送信元であるユーザからの要求に応じて前記家計簿情報蓄積手段に蓄積している家計簿情報の中から要求された情報を取得するとともに該情報に対応する前記特売品情報を前記特売品情報蓄積手段から取得する情報取得手段と、該情報取得手段で取得した情報をユーザに転送する転送手段を有することを特徴とするショッピングサポートサーバ。

20 【請求項 12】 前記特売品情報蓄積手段は、複数の店舗からの特売品情報を蓄積しており、前記情報取得手段は、予め定められた条件に従って前記特売品情報蓄積手段から特売品情報を選択して取得することを特徴とする請求項 11 に記載のショッピングサポートサーバ。

【請求項 13】 外部の端末装置から家計簿情報を受け取って蓄積する家計簿情報蓄積手段と、前記家計簿情報の送信元であるユーザからの要求に応じて前記家計簿情報蓄積手段に蓄積している家計簿情報の中から要求された情報を取得するとともに前記要求された情報に食品に関する情報が含まれている場合に該食品に関する情報に対応する献立情報を取得する情報取得手段と、該情報取得手段で取得した情報をユーザに転送する転送手段を有することを特徴とするショッピングサポートサーバ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、消費者のショッピングを支援するショッピングサポートシステム及びショッピングサポートサーバに関するものである。

【0002】

40 【従来の技術】消費者がスーパーマーケットやデパートなどの店舗で買い物をする時に、陳列されている商品を眺めながら、そのときに欲したものを購入するほか、予め購入する商品を決めておいて購入するといったことが行われる。この場合、消費者は、例えば購入する商品を記載したメモを持ったり、あるいは、購入すべき商品を記憶しておき、店舗に出向いて購入している。しかし、メモを家に置き忘れて出掛けたり、店舗に出向いたが記憶していた購入すべき商品を忘れてしまうといったことが頻繁に発生している。

50 【0003】あるいは、家に未使用の商品が残っている

か否かや、残っている商品を利用するために必要な商品を購入するといったこともある。例えば、家に残っている野菜を用いた料理を行うために、その料理に必要な別の素材を購入するといったことがある。しかし、家に残っているかといった情報は、しっかりと記憶しておくほかに、記憶が不確かな場合には、家に連絡を取って確認するか、家に戻って確認してから出直すか、あるいはだぶっていてもよいから購入するしかないのが現状である。そのため、ショッピングを効率よく行えなかったり、購入商品がだぶって無駄が生じるなどといったことが発生していた。

【0004】さらに、例えば中元や歳暮などの贈答品の時期において、以前、どのような商品を送ったかによって贈答品を決定したり、また贈答品の送り先が必要となる場合がある。近年では前回贈答品を購入した店舗から贈答先などを記した注文票が届くこともあるが、他店での購入分などを含めて一括して参照することができないなど、やはり効率的なショッピングを行うことができなかった。

【0005】一方、従来からスーパーマーケットなどの店舗においては、商品に価格情報を記したバーコードを貼り付けておき、このバーコードを読み取ることによって精算を行うPOSシステムが導入されている。このPOSシステムによって、精算時間の短縮とともに、店舗側の在庫管理用のデータとして利用したり、さらには消費者動向の分析を行って売れ筋商品の開拓などに利用されている。しかし、このPOSシステムにおいて読み取ったデータは、もっぱら販売側において利用されるものであって、消費者の立場からは精算時にしか利用されていないのが実状である。

【0006】このような店舗における購入商品情報を消費者の家計簿へ転送することも考えられている。例えば特開平10-275185号公報では、レシートの番号などの購入商品特定情報をセンターコンピュータに送ると、POSデータベースから購入商品情報を取得してユーザコンピュータに返送し、家計簿に反映させるシステムについて記載されている。このようなシステムによって、消費者はいちいち購入した商品について家計簿に転記あるいは入力する必要がなくなり、家計の管理を容易に行うことができるようになる。

【0007】このようなシステムを用いたり、あるいは、消費者が独自に購入商品に関する情報を入力することによって作成される家計簿は、過去の商品購入の履歴情報でもある。上述のように以前購入した商品の情報を必要とする場合、家計簿の情報があれば便利である。しかし従来は、家計簿の情報は家の中でのみ利用される情報であり、例えば店舗でショッピングの際に利用されることはなかった。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上述した事

情に鑑みてなされたもので、効率的にショッピングを行うことができるように消費者をサポートするショッピングサポートシステム及びショッピングサポートサーバを提供することを目的とするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明は、ショッピングサポートシステムにおいて、ユーザ端末から家計簿情報を受け取って蓄積するとともに該家計簿情報の送信元である消費者からの要求に応じて蓄積している家計簿情報の中から要求された情報を転送するサーバと、インターネットを介して前記サーバと接続し前記サーバに蓄積されている家計簿情報の中から所望の情報を取り出す端末手段を有することを特徴とするものである。さらに店舗端末から購入商品情報を受け取り前記ユーザ端末に家計簿情報として転送するように構成してもよい。

【0010】あるいは、本発明は、家計簿情報を保持し消費者が操作するユーザ端末と、同じ消費者が操作する携帯用の端末手段と、前記消費者に対する購入商品情報を取得する店舗端末と、情報を蓄積するサーバとがインターネットで接続されたショッピングサポートシステムにおいて、前記店舗端末から送られてくる前記消費者に対応する購入商品情報を前記サーバが取得して該消費者の前記ユーザ端末に家計簿情報として転送するとともに、前記消費者からの家計簿情報を取得して蓄積し、前記端末手段からの前記消費者からの指示に従って該消費者が要求する前記家計簿情報中の情報を前記端末手段に転送して、家計簿情報の一部を前記消費者に提供することを特徴とするものである。

【0011】このような構成によって、購入商品情報をサーバから受け取ったり、あるいは消費者が自ら入力した家計簿情報に対して必要に応じて手を加えた家計簿情報をサーバに転送しておき、さらにサーバから携帯型などの端末手段に必要な情報を転送することができる。これによって、例えばショッピングの際に店舗などで端末手段により家計簿情報のうちの必要な情報を参照することができるので、例えば以前購入した商品についての情報を参照しながら、商品の購入を行うことができる。

【0012】また、家計簿情報として購入すべき商品のリストを含めてサーバに転送しておけば、買い物リストを端末手段に転送して、その買い物リストに従って商品を購入することが可能である。また、贈答品などの購入時には、前回贈った商品を確認して、次に贈る商品を決めることができる。この時、宛先などの情報を家計簿情報に含めておけば、贈答品の購入時に宛先などの情報についても端末手段に転送して取り出すことが可能である。なお、端末手段に転送した情報は、必要に応じて店舗内のプリンタで記録出力させてもよい。

【0013】さらに、例えばサーバに特売商品情報が転送されていれば、端末手段に家計簿情報のうちの必要な情報を転送する際に、対応する特売商品情報も転送する

10

20

30

40

50

ことができる。これによって、購入する商品あるいは関連する商品がどこの店舗でどの程度の値段で販売されているかなどといった、購入時に有用な情報も、消費者は端末手段で取得することができる。もちろん複数の店舗から特売商品情報が得られていれば、どの商品を購入するにはどの店舗でいつ安く売られているかといった情報や、購入しようとする商品を販売している店舗で格安の商品など、購入時の条件に応じた様々な特売商品情報を、消費者が受け取ることができる。

【0014】さらにまた、端末手段に転送する情報が食品に関する情報である場合には、その情報に対応する献立情報についても端末手段に転送することが可能である。これによって、自宅に保存されている食材を有効に利用した献立を考えることができる。特に食事制限などが必要な者に対する献立には、そのような制限を付加した献立を提供することもできる。

【0015】なお、店舗内などで用いる端末手段や、家計簿情報を保有するユーザ端末等は、サーバへのアクセスはインターネットを介してホームページにアクセスすることによって行うことが可能である。このとき、各消費者における個人認証などを行って各種の情報の転送を行うように構成することができる。

【0016】また本発明は、ショッピングサポートサーバにおいて、店舗から特売品情報を受け取って蓄積する特売品情報蓄積手段と、外部の端末装置から家計簿情報を受け取って蓄積する家計簿情報蓄積手段と、前記家計簿情報の送信元であるユーザからの要求に応じて前記家計簿情報蓄積手段に蓄積している家計簿情報の中から要求された情報を取得するとともに該情報に対応する前記特売品情報を前記特売品情報蓄積手段から取得する情報取得手段と、該情報取得手段で取得した情報をユーザに転送する転送手段を有することを特徴とするものである。特売品情報は複数の店舗から収集されていることが望ましく、特売品情報の取得の際には、予め定められた条件に従って選択するように構成するとよい。

【0017】このような構成によって、購入する商品あるいは関連する商品がどこの店舗でどの程度の値段で販売されているかなどといった、購入時に有用な情報も、消費者は端末手段で取得することができる。さらに複数の店舗から特売商品情報が得られることによって、どの商品がどの店舗でいつ安く売られているかといった情報や、購入しようとする商品を販売している店舗で格安の商品など、購入時の条件に応じた様々な特売商品情報を、消費者が受け取ることができる。

【0018】さらに本発明は、ショッピングサポートサーバにおいて、外部の端末装置から家計簿情報を受け取って蓄積する家計簿情報蓄積手段と、前記家計簿情報の送信元であるユーザからの要求に応じて前記家計簿情報蓄積手段に蓄積している家計簿情報の中から要求された情報を取得するとともに前記要求された情報に食品に関

する情報が含まれている場合に該食品に関する情報に対応する献立情報を取得する情報取得手段と、該情報取得手段で取得した情報をユーザに転送する転送手段を有することを特徴とするものである。これによって、自宅に保存されている食材を有効に利用した献立等が提示されるので、食材を有効に活用することができるとともに、献立を考える際の参考にすることができる。特に食事制限などが必要な者に対する献立には、そのような制限を付加した献立を提供することもできる。

10 【0019】

【発明の実施の形態】図1は、本発明のショッピングサポートシステムの実施の一形態を示す構成図、図2は、同じくサーバの一構成例を示すブロック図である。図中、1は店舗端末、2はサーバ、3はインターネットホームページ、4はユーザ端末、5は携帯端末、6はプリンタ、7はインターネット、11は購入商品情報蓄積部、12は家計簿情報蓄積部、13は情報取得部、14は転送部である。店舗端末1は、レジスタなどのPOS端末、あるいはそのようなPOS端末と各POS端末からの情報を統括するコンピュータなどを含むものである。店舗端末1では、消費者が購入した商品に関する情報が入力される。例えば商品に付されたバーコードを読み取るものであってよい。読み取った商品情報は、従来と同様に店舗毎のデータとして統括されるほか、それぞれの消費者毎のそれぞれの購入商品に関する情報がインターネット7などを介してサーバ2に送られる。このとき、例えば消費者が暗証番号などの独自の識別コードを入力したり、クレジットカードや所定のカードの使用によって消費者が特定される場合には、その識別コードやカードのIDなどの消費者を特定する情報についてもサーバ2に転送する。なお、消費者が特定されない場合には、例えば1回の精算が分かるような情報を付加しておくといよい。

【0020】サーバ2は、各種の情報の蓄積及び情報の提供を行う。例えば図2に示すように、購入商品情報蓄積部11、家計簿情報蓄積部12、情報取得部13、転送部14等を含む構成とすることができる。購入商品情報蓄積部11は、1ないし複数の店舗端末1から送られてくる、消費者が購入した商品に関する情報を、例えば消費者毎に蓄積している。あるいは、消費者が特定されていない場合には、1回の精算毎に蓄積していてもよい。

【0021】家計簿情報蓄積部12は、ユーザ端末4からインターネット7を介して送られてくる家計簿情報を蓄積する。家計簿情報は、図1に示す例ではホームページ3にアクセスすることによってサーバ2への登録が行えるように構成している。もちろん、例えば電子メールによる登録など、任意の方法を利用することができる。サーバ2は、送られてきた家計簿情報を、送り元の消費者に対応付けて、この家計簿情報蓄積部12に蓄積して

おく。

【0022】情報取得部13は、この例では後述するユーザ端末4からインターネット7を介してホームページ3にアクセスした消費者に対応する購入商品に関する情報を前記購入商品情報蓄積部11から取得して転送部14に渡す。この時、アクセスした消費者と、商品を購入した消費者とが同一であることを認証する必要がある。例えば店舗端末1において商品の購入時に各自の識別コードを入力したり、クレジットカードなどのカードを使用した場合には、それらの識別コードやカードIDなどを指示することによって購入商品に関する情報を特定すればよい。あるいは、上述の特開平10-275185号公報に記載されているように、レシートなどに記載されている購入商品特定情報によって購入商品に関する情報を特定してもよい。

【0023】また情報取得部13は、携帯端末5などからのインターネット7を介したホームページ3へのアクセス等による要求に応じて、家計簿情報蓄積部12に蓄積されている家計簿情報を取得し、転送部14に渡す。このとき、家計簿情報蓄積部12に蓄積している家計簿情報に対して、指定された条件により一部の情報のみを取り出すことができるように構成することができる。この場合にも、アクセスした消費者の認証が必要である。

【0024】転送部14は、情報取得部13で取得した購入商品に関する情報を、アクセスした消費者に対応するユーザ端末4に対して転送する。このとき、例えば転送先で購入商品に関する情報を利用しやすいデータ形式（例えば家計簿ソフトウェアで取り込みやすい形式など）に変換しておいてもよい。もちろん、データ変換はユーザ端末4で行ってもよい。また転送部14は、情報取得部13で取得した家計簿情報（の一部）を、要求元の例えば携帯端末5などに転送する。もちろん、要求元がユーザ端末4であれば、そのユーザ端末4に転送することになる。

【0025】上述の購入商品に関する情報や家計簿情報のほか、サーバ2には各種の情報を蓄積しておくことができる。例えば献立やレシピなどの情報を蓄積しておくことができる。そして、家計簿情報（あるいはその一部）を携帯端末5などに転送する際に、転送する商品に関する情報に対応する献立情報が存在していれば、その献立情報についても携帯端末5などに転送する機能を有してよい。もちろんこの時、特売商品情報も考慮して献立情報を選択し、特売商品情報とともに携帯端末5に転送してもよい。

【0026】図1に戻り、ホームページ3は、消費者がインターネット7を介してサーバ2をアクセスする際のユーザインタフェースを提供している。例えばサーバ2に蓄積されている購入商品に関する情報を取り出す際には、商品を購入した消費者を特定する情報を入力する際の入力画面などを提供する。また、家計簿情報を登録す

る際も同様である。さらに、家計簿情報を取り出す際には、消費者を同定するための情報を入力するとともに、取り出す情報に対する条件などの設定を行うための入力画面などを提供することができる。

【0027】ユーザ端末4は、例えば消費者の家庭などに設置され、ここではインターネット7を介して通信を行う機能と、家計簿ソフトウェアの機能が動作する。インターネット7を介してホームページ3にアクセスして、購入商品に関する情報の転送を指示することによって、サーバ2に蓄積されている購入商品に関する情報の転送を受けることができる。受け取った購入商品に関する情報は、家計簿ソフトウェアに取り込まれ、家計簿情報の一部として活用される。消費者は、ユーザ端末4を操作して、家計簿ソフトウェアが提供する様々な機能を利用し、家計の状態を把握することが可能である。

【0028】ユーザ端末4では、消費者が自ら家計簿ソフトウェアを用いてデータの入力を行ったり、あるいは、既に入力されているデータの修正や削除などを行うことができる。例えば、サーバ2から転送されない購入商品に関する情報などを入力することができる。また、これから購入する商品の情報を入力しておくこともできる。さらに、例えば贈答品の宛先に関する情報を入力しておいたり、購入した電気製品の交換部品の型番を予め入力しておくなど、関連情報の入力を行っておくことができる。さらに、食品や日用品などのように消費されるものに関しては、例えば消費したか否かを入力しておくことによって、家庭における在庫管理を行うことができる。食品に関しては、賞味期限や消費期限などを入力しておいてもよい。

【0029】ユーザ端末4で管理されている家計簿情報は、必要に応じてサーバ2に転送しておくことができる。転送方法は、この例ではインターネット7を介してホームページ3にアクセスすることによって行うことができる。もちろん、例えば電子メールを用いるなど、他の方法を用いることも可能である。

【0030】携帯端末5は、インターネット7を介して通信を行う機能を有しており、消費者が例えば店舗内でも利用可能なものである。消費者は、この携帯端末5を用いてインターネット7を介してホームページ3にアクセスし、予めサーバ2に転送しておいた自分の家計簿情報を取り出すことができる。このとき、条件を指定して家計簿情報の一部を取り出すことができるようにしてもよい。もちろん、携帯端末5において、転送されてきた家計簿情報を加工してもよい。消費者は、このようにして携帯端末5に転送された家計簿情報を参照しながらショッピングを行うことができる。

【0031】プリンタ6は、例えば店舗内に設置され、消費者が携帯端末5に転送した家計簿情報をプリントアウトすることができる。

【0032】図3は、本発明のショッピングサポートシ

10

20

30

40

50

システムの実施の一形態における動作の一例の説明図である。消費者が店舗にて商品を購入する。このとき店舗端末1において、例えば商品に付されているバーコードなどを読み取って購入商品情報を取得し、精算を行う。この時、消費者は例えば暗証番号などの識別コードを入力したり、クレジットカードや所定のカードの使用によって個人を識別する情報を入力する。あるいは、今回の商品購入を識別する情報を受け取ってもよい。

【0033】このようにして店舗端末1に入力された商品情報は、サーバ2へ転送される()。このとき、消費者が特定されている場合には、その消費者を特定する情報、例えば入力された暗証番号や識別コードや、カードのIDなどの情報についてもサーバ2に転送する。なお、消費者が特定されない場合には、例えば1回の精算が分かるような情報を付加しておくともよい。サーバ2に転送された購入商品に関する情報は、図2に示すサーバ2の購入商品情報蓄積部11に蓄積される。

【0034】消費者は帰宅後、ユーザ端末4からインターネット7を介してホームページ3にアクセスする。サーバ2は、アクセスに応じて購入商品情報蓄積部11に蓄積されている購入商品に関する情報を情報取得部13で取得し、転送部14からユーザ端末4へ転送する。これによって、消費者は店舗等で購入した商品に関する商品情報を取得することができる()。サーバ2へのアクセス時には、店舗等において店舗端末1で入力した暗証番号や識別コード、あるいは使用したカードのIDなどを入力して個人認証を行う。あるいは、精算毎に渡される情報を入力してもよい。なお、取得する商品情報は、ユーザ端末4で使用している家計簿ソフトウェアで利用可能なデータとして渡されるとよい。もちろん、ユーザ端末4において変換を行ってもよい。この場合も、消費者が操作を行わずに自動的に行われることが望ましい。これによって、商品情報を家計簿情報として容易に取り扱うことができるようになる。

【0035】あるいは、消費者は、ユーザ端末4において商品情報などを入力することもできる()。例えばサーバ2へ商品情報が転送されない店舗で購入した商品の情報を入力することができる。もちろん、サーバ2からの商品情報を受けずに商品情報をユーザ端末4において入力してもよい。さらに、購入した商品に関する補足的な情報、あるいは、これから購入しようとする商品の情報等も入力することができる。購入した商品に関する補足的な情報としては、例えば贈答品であれば送り先に関する情報、生鮮品であれば賞味期限、生鮮品を含む消耗品であれば消費したか否か、電気製品などであれば部品の型番などの情報が考えられる。もちろんこれらの他にも、種々の情報を商品情報に付加することが可能である。また、これから購入しようとする商品の情報は、そのまま買い物メモとして利用可能な情報である。このようにしてサーバ2から転送を受けた商品情報や、ユーザ

端末4に入力された情報などが家計簿情報となる。

【0036】このようにしてユーザ端末4に蓄積された家計簿情報は、消費者の操作によって、その一部または全部をサーバ2に蓄積させておくことができる()。この場合も、例えばインターネット7を介してホームページ3にアクセスすることによって行うことができる。この時、登録時の個人認証なども行われる。サーバ2は、ユーザ端末4から転送されている家計簿情報を家計簿情報蓄積部12に蓄積する。

10 【0037】消費者はショッピングに出向いた際には、例えば携帯端末5によってインターネット7を介してホームページ3にアクセスする。サーバ2は、アクセスに応じて家計簿情報蓄積部12から家計簿情報を情報取得部13で取得し、転送部14を介して携帯端末5へ転送する。これによって、予めサーバ2に蓄積しておいた家計簿情報を取り出すことができる()。このとき、サーバ2に蓄積しておいた家計簿情報の全てを受け取ってもよいが、例えば条件を設定し、その条件により家計簿情報の一部を取り出すことも可能である。例えば予めユーザ端末4で入力しておいた買い物メモを取り出し、購入すべき商品をチェックすることができる。これによって、従来のように買い物メモを家に置き忘れてショッピングができないといったことがなくなる。

20 【0038】あるいは、未消費の消耗品リストを取り出し、例えば在庫の食材をチェックして献立を決め、不足する食材を購入したり、そろそろ購入時期となる消耗品を購入することができる。これによって、記憶に頼らずに必要なものを購入することができるため、重複した購入を避けることができ、また在庫の食材を廃棄されることなく有効に利用して家計を助けることができる。また、以前購入した商品の値段を参照し、現在販売されている値段と比較して購入するか否かを決めるなどといったこともできる。

30 【0039】さらに贈答品などでは、以前購入した贈答品のリストを取り出して今回の贈答品を決めたり、贈答品を送った相手先の情報を取り出し、配送の手配を行うことができる。そのため、例えば店舗に向いて贈答の必要に気がついたときに、その場で対応することが可能となり、贈答先の住所がわからずに出直すといった手間を省いて効率よくショッピングを行うことができる。

40 【0040】なお、携帯端末5に転送した家計簿情報(の一部)は、適宜、店舗内に設けられたプリンタ6によって記録出力することができる()。例えば携帯端末5の画面では見にくい場合に、プリンタ6で記録出力することによって、取得した家計簿情報が見やすくなる。また、多くの用途に利用している場合などでも、いくつかの用途については記録出力しておけば便利である。もちろん、携帯端末5にプリンタが設けられていれば、そのプリンタを用いても同様である。

50 【0041】このように、家計簿情報をサーバ2に転送

しておき、携帯端末 5 等によってその家計簿情報を取り出すことによって、上述のように消費者のショッピングを様々な場面でサポートすることができる。

【0042】図 4 は、本発明のショッピングサポートシステムの実施の一形態における変形例を示す構成図、図 5 は、同じくサーバの一例を示すブロック図である。図中、図 1、図 2 と同様の部分には同じ符号を付して説明を省略する。8 は店舗本部、9 は情報源、15 は特売品情報蓄積部、16 は献立情報蓄積部である。この例では、店舗端末 1 が設置されている店舗や、複数の店舗を統括する店舗本部 8 から特売品情報を取得したり、その他、種々の情報源 9 から取得した情報と家計簿情報とをリンクする例を示している。

【0043】この例においてサーバ 2 は、図 2 に示す構成の他に特売品情報蓄積部 15 及び献立情報蓄積部 16 を有している。特売品情報蓄積部 15 は、例えば店舗や店舗本部 8 から提供される特売品情報を蓄積する。特売品情報は、多くの店舗や店舗本部 8 から取得しておくともよい。また、当日だけでなく、数日分の特売品情報、あるいは特売のスケジュールに応じた情報などを蓄積しておくともよい。献立情報蓄積部 16 は、例えば情報源 9 などから提供される各種の献立に関する情報を蓄積している。なお、この献立情報蓄積部 16 を設けずに、献立情報が必要になる度に情報源 9 にアクセスしてもよい。

【0044】情報取得部 13 は、上述のように消費者から家計簿情報の取得が要求されたとき、家計簿情報蓄積部 12 に蓄積されている家計簿情報を、指定された条件に応じて取得する機能を有している。このとき、取得された家計簿情報に対応する特売品情報を特売品情報蓄積部 15 から取得し、家計簿情報とともに転送部 14 から転送する。特売品情報の取得時には、予め設定された条件に従って特売品情報を選択する機能を有していてもよい。また情報取得部 13 は、取得した家計簿情報中に食品の情報に関する情報が含まれているとき、その食品に関する情報に対応する献立情報を前記献立情報蓄積部 16 などから取得し、家計簿情報とともに転送部 14 から転送する。この場合も、予め設定された条件に従って献立情報を選択する機能を有していてもよい。なお、特売品情報と献立情報のいずれか一方のみを提供したり、特売品情報と献立情報を相互にリンクさせておき、在庫の食品と特売品情報とから献立情報が選択されるように構成してもよい。

【0045】このような構成において、例えば店舗や店舗本部 8 から特売品情報がサーバ 2 に転送されると、サーバ 2 はこれを蓄積しておく。そして、消費者が携帯端末 5 などによりインターネット 7 を介してホームページ 3 にアクセスして家計簿情報を取り出す際に、例えば購入品のリストに対しては、その購入品に対応する特売品情報が特売品情報蓄積部 15 に存在すれば、その特売品情報についても携帯端末 5 に転送される。これによって

消費者は、購入品について特売品についてはその時点で購入し、その他は後日に回すなどといった購入計画を出先でも立てることができる。また、複数の店舗や店舗本部 8 からの特売品情報が存在すれば、購入品によっては近くの店舗が安ければそちらにも立ち寄って購入するなどといったことができる。さらに数日分以上の特売品情報が蓄積されていれば、いつどの店舗へ出向けば安く購入できるかといった計画も立てられる。また、図 5 に示すように特売品情報蓄積部 15 に蓄積する方法の場合、インターネット 7 に公開されている特売品情報とは別に、会員向けの特売品情報なども提供することが可能になる。

【0046】さらに、例えば上述のように在庫の食材をチェックして献立を決めるといったときに、特売品情報の中の食材を使用して調理できる献立を優先するなどといったこともできる。上述のように献立情報蓄積部 16 や情報源 9 から献立情報が提供されている場合、在庫の食材と特売品情報とを用いて、推奨する献立を消費者に提供することが可能になる。さらに、調理方法や使用方法などの情報提供を受けることも可能である。

【0047】情報源 9 は、このような献立情報の他にも、例えば医療情報を提供し、献立情報の提供の際に、食事制限を課した献立情報を作成するなどといったことが考えられる。あるいは、情報源 9 から製品回収情報などの危険情報が提供されている場合、その情報についても家計簿情報とともに消費者に提供し、購入しないように注意を喚起することも可能である。もちろん、情報源 9 はこのほかにも各種の情報を提供するものであってもよい。またサーバ 2 中にこれらの情報が蓄積されていてもよい。これらの情報は、サーバ 2 が消費者に家計簿情報を提供する際に自動的に家計簿情報に付加したり、あるいは、消費者からの要求に応じて提供することができる。

【0048】またこのようなシステムでは、サーバ 2 に多くの消費者からの家計簿情報が集積されるので、消費者の要求などを集約し、店舗や店舗本部 8 などに提供することも可能である。店舗や店舗本部 8 では、サーバ 2 にアクセスすることによってこのような消費者のニーズをリアルタイムに把握することができ、例えば特売品情報に反映するなど、マーケティング活動に活かすことが可能である。また、店舗端末 1 から消費者による商品の購入時の情報も集まるので、これらを集計し、店舗本部 8 などに情報提供することも可能である。

【0049】なお、店舗本部 8 や情報源 9 からの各種の情報は、図 4 に示すようにインターネット 7 を介してサーバ 2 に転送するほか、インターネット以外のルートで入手したり、サーバ 2 の管理会社が独自に入力して提供してもよい。

【0050】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明

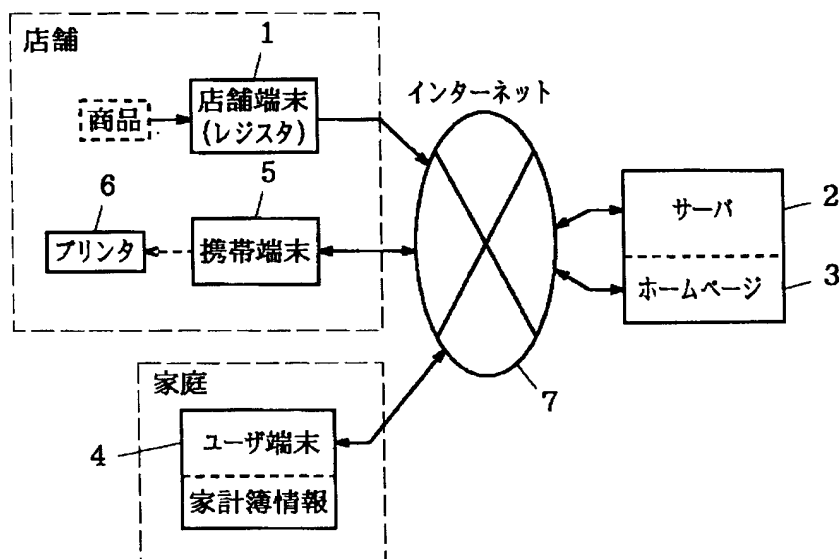
13

によれば、家計簿情報をサーバに転送しておくことによって、ショッピング時に携帯型の端末等に取り出すことが可能である。従って、従来のような記憶に頼ったショッピングによる時間的な無駄や購入した商品の無駄等を排除し、効率的にショッピングを行うことが可能になる。また、特売品情報や献立情報などと家計簿情報をリンクさせることが可能であるので、例えば在庫の食材と特売品とで料理できる献立の情報を受け取るなど、消費者は各自のショッピングに関する各種の関連情報の提供を受けることができ、これによって、消費者のショッピングを効率的にサポートすることができる。本発明のショッピングサポートシステムによれば、上述のように、消費者のショッピングを多方面からサポートし、種々の効果を挙げることができる。

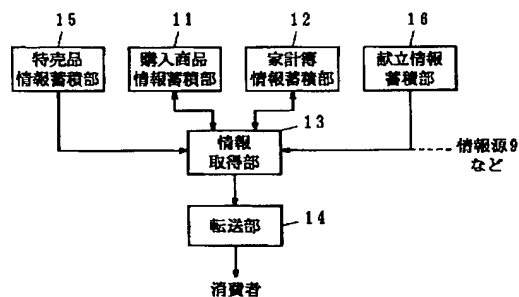
【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明のショッピングサポートシステムの実施の一形態を示す構成図である。

【図 1】



【図 5】



14

【図 2】 本発明のショッピングサポートシステムの実施の一形態におけるサーバの一構成例を示すブロック図である。

【図 3】 本発明のショッピングサポートシステムの実施の一形態における動作の一例の説明図である。

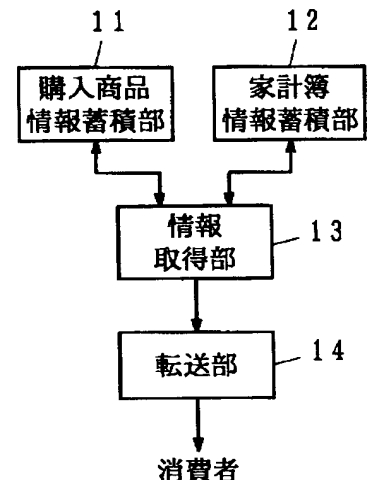
【図 4】 本発明のショッピングサポートシステムの実施の一形態における変形例を示す構成図である。

【図 5】 本発明のショッピングサポートシステムの実施の一形態の変形例におけるサーバの一例を示すブロック図である。

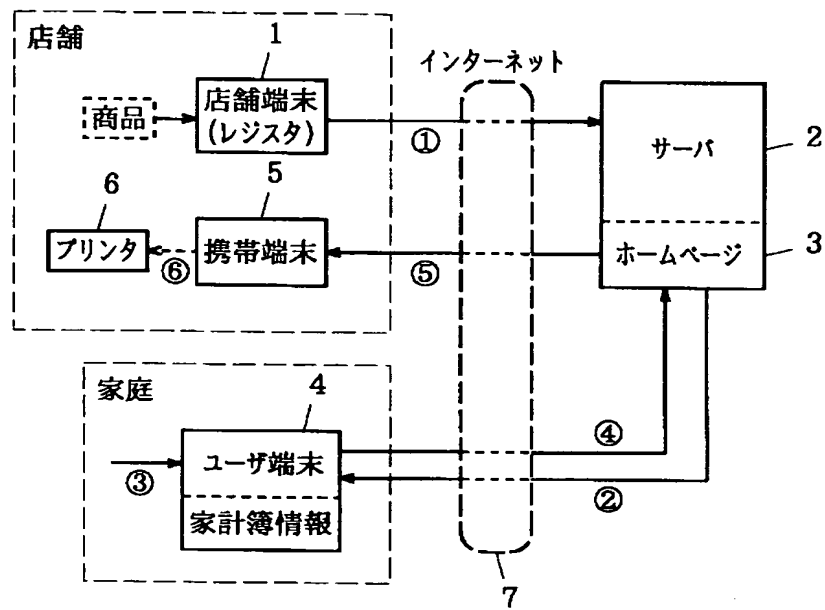
【符号の説明】

1…店舗端末、2…サーバ、3…インターネットホームページ、4…ユーザ端末、5…携帯端末、6…プリンタ、7…インターネット、8…店舗本部、9…情報源、11…購入商品情報蓄積部、12…家計簿情報蓄積部、13…情報取得部、14…転送部、15…特売品情報蓄積部、16…献立情報蓄積部。

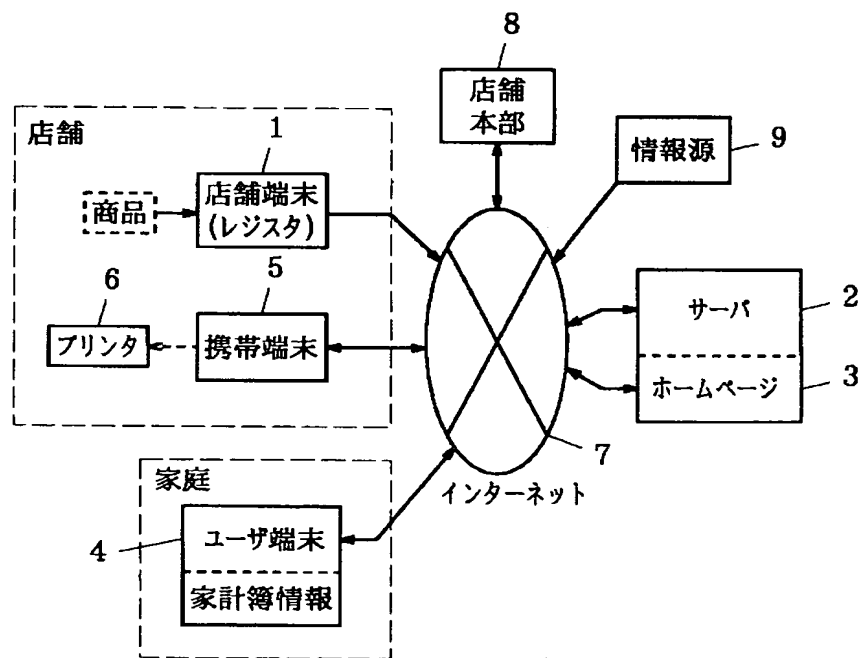
【図 2】



【図 3】



【図 4】



THIS PAGE BLANK (USPTO)